

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

【固形がんを対象とする遺伝子解析検査】

● TSO Comp.パネルシステム

(依頼コード No.14253)

受託開始日 2026年6月1日(月) ご依頼分より

「TruSight™ Oncology Comprehensive(TSO Comp.)パネルシステム」は、固形がん患者のホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)検体を用い、1回の検査で517のがん関連遺伝子変異を包括的に解析する検査です。

検体はがん組織のFFPEのみを対象とし、FFPEより抽出したDNAからは一塩基変異、多塩基変異、挿入・欠失及び遺伝子増幅を、RNAからは融合遺伝子及びスプライスバリエントを検出します。

抽出した核酸(DNA、RNA)が比較的少量でも検査可能で、融合遺伝子が重要なマーカーとなるがん種でも少量の抽出RNAを用いて高精度な検査を行うことができます。

患者の血液を用いたマッチドペア検査は行いません。

本検査は、がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院またはがんゲノム医療連携病院として指定を受けている保険医療機関で実施可能です。

本検査は、株式会社理研ジェネシスへの委託検査です。

次ページに続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



受託要領

依頼コードNo.	14253
検査項目名	TSO Comp.
検体必要量	未染色スライド 10枚(5 μ m厚) または 5枚(10 μ m厚) + HE染色スライド 1枚(5 μ m厚)
容器	CASE
検体の保存方法	室温
所要日数	18~31
検査方法	次世代シーケンス(NGS)法
基準値	なし
報告範囲 (報告形式)	【別紙報告】
検査委託先	株式会社理研ジェネシス
検査実施料/判断料	44000点 [*] /100点(遺伝子関連・染色体検査)
	<p>※がんゲノムプロファイリング検査(D006-19 1:固形腫瘍を対象とする場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 検体提出時に算定 次世代シーケンサー(NGS)を用いた包括的ゲノムプロファイル取得のための検査実施料 エキスパートパネルの実施に係る費用も所定点数に含まれる <p>(参考)がんゲノムプロファイリング評価提供料(B011-5):12000点</p> <ul style="list-style-type: none"> 結果説明時に算定 エキスパートパネルでの検討結果を患者に提供する際の評価料 保険収載時は「B」区分、DPC算定対象外
備考	<p>【曜日指定項目】受託可能曜日:月~金(土・日・祝日と祝日前日は受託不可)</p> <p>本検査の受託に際しましては「TSO Comp.ポータル」などの事前手続きが必要となりますので、最寄りの営業所までご連絡ください。</p> <p>検体は必ず未染色スライドとHE染色スライドを併せてご提出ください。</p> <p>検体は日本病理学会が策定した「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程」に基づいて、組織採取後3年以内のFFPEブロックから薄切後4週間以内のFFPEスライドをご提出ください。</p>

出検時の注意事項

1. ご依頼はポータルサイト「TSO Comp.ポータル」から印刷される専用依頼書に記入し、検体、C-CAT IDリストを併せてご提出ください。
2. 臓器または組織移植を受けた患者検体を用いた性能評価はされていないため、適切な検査結果は得られない可能性があり、検査結果の保証はいたしかねます。
3. 腫瘍細胞含有率の情報が必要となりますので、必ずTSO Comp.ポータルに入力してください。
4. 日本病理学会策定の「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規定」に記載のホルマリン固定条件等を遵守した検体を用いてください。
ホルマリン固定検体では、固定条件（固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態など）によっては核酸の断片化が起こり解析不能となる可能性があります。
検体の取り扱いに関しましては各種ガイドラインなどを参照してください。
<推奨される固定条件>
ホルマリン：10%中性緩衝ホルマリン
固定時間：手術検体 18～36時間、生検検体 4～24時間（ホルマリン固定時間 6～48時間、
微小组織検体（EBUS生検等）6～24時間）、組織量に対し10倍量の固定液を使用
<切片作製時の別検体からのコンタミネーションを避けるため、以下の作業を行ってください>
検体毎にミクロトームブレードを交換してください。
ウォーターバスは検体毎に洗浄してください。
手袋は頻繁に交換してください。
5. 3年以内に作製されたホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）ブロックから、4週間以内に薄切し作製した未染色スライドをご提出ください。
組織は脱灰しないでください。（酸脱灰、EDTA脱灰を含む）
6. 1スライドあたり16mm²程度、FFPE切片の合計体積は0.8mm³以上の組織をご提出ください。
7. 未染色スライドの組織に腫瘍細胞が20%以上含まれていることをご確認の上、ご提出ください。
腫瘍細胞含有率が20%に満たない場合にはマクロダイセクションの実施が必要となります。
その際は、HE染色スライドの裏面に、腫瘍部を完全に囲うようにマーキングをお願いいたします。
なお、マクロダイセクションを実施する際は、マーキング内の腫瘍細胞含有率を記入してください。
23%以上の組織壊死は検査結果に影響することがあります。
8. 本検査は核酸抽出から解析までを一連の検査として実施するため、核酸量が基準に満たない等で検査実施が困難な場合は、所定の検査費用が発生します。あらかじめ、ご了承ください。

【参考URL】（2026年5月25日閲覧）

<https://www.sysmex.co.jp/professionals/clinical/genetic/CC886025.html>